

令和5年11月29日

読谷村議会  
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員  
城間 真弓 印

## 一般質問通告書

第530回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 こどもの権利条約を軸とした子育て支援政策を問う。すべての子どもたちが安全・安心な環境の中で学び、遊び、幸せに生きられる読谷村を！</p> <p>(1) こどもの貧困対策事業『自立支援プロジェクト』『生活スキルアップ事業』について</p> <p>ア 今現在の「地域福祉活動センター」と「こども未来センター」別に、この事業を利用しているこどもの数と、学年の内訳。</p> <p>イ こどもの貧困対策事業において県内で唯一「3ヶ月」という短い支援期間について、その期限を定めた読谷村の根拠とは。</p> <p>ウ 読谷村がこの事業を直営でやろうと決めた際、どのような議論がされて『自立支援プロジェクト』と『生活スキルアップ事業』となったのか。</p> <p>エ この事業において、子どもたちが本当に求める心の声を反映していると思うか。</p> <p>(2) 学校に行けない、または行かない子どもたちに対し、学ぶ権利、育つ権利の観点からどのような対策を考えていくのか。学校以外の居場所づくりや、体験学習、自宅で受けれるZOOM授業の環境づくりなど、早急に対応・対策が必要ではないか。</p> <p>(3) こども未来基金の活用について、社協への支援コーディネーター以外に、新たな事業や、計画などはありますか。</p> <p>(4) 「読谷村こどもの権利条例」の制定がやはり必要だと考えるが、制定に向けて今後の方針は。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>2 次世代に安全安心な環境を残そう！2014 年米軍読谷補助飛行場跡地で発見された基準値をはるかに超えたダイオキシン類や鉛を含む廃棄物処理問題について</p> <p>(1) 2014 年米軍読谷補助飛行場跡地でダイオキシンや鉛等が発見されてから9年の月日が経過したが、いまだに最終的な処理方法についての報告がない。現在の進捗とは。</p> <p>(2) 現在コンクリートで覆われた場所の安全対策・管理はどのように行われているか。</p> <p>(3) 次世代に安全安心な土壌や水、環境を残していくため「読谷村環境保護条例」の制定が必要ではないか。村の方針を問う。</p>	
<p>3 マイナ保険証義務化撤回と、現行の健康保険証存続を！</p> <p>(1) 読谷村のマイナ保険証の登録率は。また本村で登録した村民の方でマイナ保険証によるトラブルなどの報告はなかったか。</p>	